

令和4年
6月7日

山口きらら博記念公園

EVENT

「やまぐち建設産業 魅力発見フェア」を 山口県等と共催しました！



ドキドキのVR体験！

令和4年6月7日、山口きらら博記念公園にて「やまぐち建設産業魅力発見フェア」が開催されました。このイベントは高校生を対象に、技術・技能の体験や県内企業の紹介等を通じて建設産業への理解を深めてもらい、将来の担い手確保につなげることを目的に行われています。

今回は、岩国工業高校、田布施農工高校、徳山商工高校、高川学園高校、山口農業高校、宇部西高校、下関工科高校の7校およそ240名の生徒が参加。鉄筋工やび工、瓦工、管工、電業など10の団体・企業の技術を体験できる「技術・技能体験エリア」と、県内企業33社と自治体の個別ブースで仕事内容や業界の説明を受ける「建設企業交流エリア」をまわり、建設産業への理解を深めました。また、屋外ではICT建機の自動制御運転や測量用ドローンの実演も行われ、建設業界の先端技術についても紹介を受けました。

本協会は、重機ラジコンの操縦や建設現場を仮想空間で見られるVR体験コーナーを設置。本協会作成の「広報誌ピラー」の配布等も行い、建設業の魅力を紹介しました。使用したVR映像では瀬戸大橋のケーブル上を進むなど迫力のある空間を疑似体験でき、生



徒たちは上下左右に視線を移しながら、目の前に広がる景色に声を上げていました。

徳山商工2年の満田日和さんは「VRは見える景色がリアルで驚きました。今日のイベントでは、鉄筋を大きなカッターで切るときのコツや瓦がどうやって固定されているかなど、たくさんのお話を聞くことができました。とても勉強になりました」と話してくれました。また、同校2年の石川悟也さんは「初めてのVR体験でしたが、実際に自分がそこにいるような感覚でした。ICT建機の実演も興味深く、建設業もさまざまな技術が進んでいるんだなと思いました。進路はまだ決まっていないですが、作られたものの維持、メンテナンスに興味があります」と話してくれました。

企業ブースに出展された住吉運輸(株)総務部・今井崇史部長と住吉工業(株)総務部・荒井徹課長のお二人にお話を伺うと「若い世代に建設業の魅力を知ってもらうため、日頃から出前授業なども積極的にを行っています。当社としてはリモート会議の推進や、フリーアドレス制の実施など働き方改革を進めるとともに、会社にながら現場の機器を動かす遠隔操作技術の導入に取り組んでおり、若者や女性も働きやすい職場となるよう努めています。ぜひ多くの学生に興味を持ってもらえれば」と話されていました。

このイベントを通して、建設業の魅力と新たな可能性を感じてもらい、高校生への入職の一助となることを願っています。



住吉運輸株式会社
今井 崇史 部長

住吉工業株式会社
荒井 徹 課長

企業交流エリアの様子



徳山商工 2年
満田 日和 さん

徳山商工 2年
石川 悟也 さん



ICT建機



溶接体験



木組み体験



会場の様子